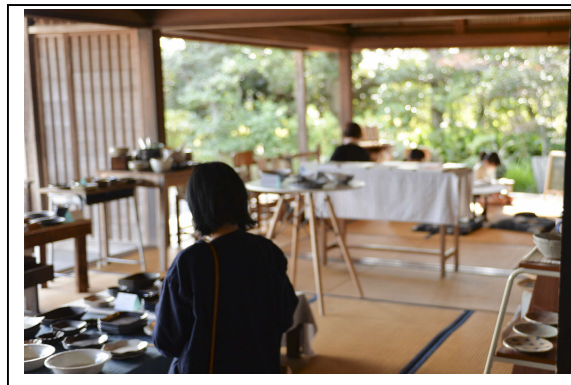


寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人くらしアトリエ
テーマ名	文化やスポーツの振興
事業名	私設図書館「山の図書室」魅力アップ事業
事業費(うち助成金額)	110,534 円(100,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



■事業目的（250文字程度）

2022年から法人の事業として始めた私設図書館「山の図書室」の魅力さをさらに強化し、独自性を持たせることで、文化交流の拠点として、学びや気づきを得られる場を創出する。

◎図書室の蔵書を増やすことで、ターゲット層である女性にとって興味関心の深い「暮らし」を充実させるきっかけ作りを行うとともに、利用者の知的好奇心を深める場所としての認知度を深める。

◎「山の図書室」の存在を市民へ広く周知するためにオープンイベントを実施し、図書室での過ごし方を体感してもらい、新たな会員登録者を増やすことを目的とする。

■事業内容（350字程度）

「山の図書室」をさらに多くの方に楽しんでいただくため、蔵書の拡充を行った。特に、女性の暮らしを充実させる「インテリア」「料理」「暮らしの知恵」などがテーマの書籍、そして、くらしアトリエの強みである「地域と暮らし」を考えるための書籍として、地域からの発信を行う個性ある全国各地の小冊子など、合計31冊を購入した。

また、10月26日～28日の3日間、「暮らしの本」をテーマとしたイベント「うつわと、本。」を開催した。前週に行っていた「うつわと調味料」がテーマのイベントを引き続き継続させ、同時開催とすることで、暮らしを豊かにすることに興味のある方々にお越しいただき、読書を楽しんでいただいた。新規の会員登録や、既存の会員の更新登録を促進させ、ホームページ上やSNSで「山の図書室」の周知を図った。

■事業成果と今後の展望（450字程度）

イベント「うつわと、本。」の3日間での総来場者数は105名で、多くの方に図書室の存在を知っていただいた。来場がきっかけで、新規の会員登録が5名あったほか、会員でない方も会場で読書を楽しんでくださった。

うつわや調味料の展示販売イベントを前週から継続し、同時開催としたことで、食に興味を持つ来場者が多く、特にレシピの本と盛りつけ方法を指南する本が人気だった。逆に、図書室を目的に来場された方がうつわや調味料に興味を持ってくださり、購入につながるなど、副次的効果もあった。

今回の事業で蔵書として新たに購入した民藝の書籍やウクライナ料理のレシピ本も、多くの方に閲覧していただいたことから、今後も多彩なテーマの本を提供することでさらに会員数を増やし、本を通じてつながる場として機能していきたい。そのために◎本の寄付を積極的に受け付ける◎SNSなどで図書室のおすすめ本を発信する◎定期的にオープンイベントを実施する◎マイクロライブラリーの存在をさらに周知する など、工夫を凝らした活動を続けていきたい。